

各 位

株式会社 焼肉屋さかい
 代表取締役会長 杉本 英雄
 (JASDAQ・コード：7622)
 問合せ先 取締役管理本部長 乗松 康弘
 TEL：058(380)2226

親会社等に関する事項について

1. 親会社の商号等

(平成19年5月31日現在)

親会社等	属性	親会社等の 議決権所有 割合 (%)	親会社等が発行する株券が上場さ れている証券取引所等
株式会社ジー・コミュニケ ーション	親会社	51.46	なし

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

① 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係

当社及び親会社の企業グループに属する企業の多くは、様々な形で飲食事業に関するサービスを提供しておりますが、当社は、焼肉屋さかい・炭火焼肉屋さかいの主要2業態を中心とする焼肉事業を核とした事業展開を行っており、親会社の企業グループとは、ノウハウ・食材・情報システム・配送機能など共通のインフラを活用しつつも、集客における来店動機・顧客構成が異なるなど、相互に補完・補強し合う関係にあります。従いまして、当社は事業の推進に当たり、親会社企業グループから一定の独立性を保持しつつ、緊密な協力関係を保つ必要があると認識しております。

このような認識の下、当社には親会社との経営情報の交換、技術・ノウハウの交流促進を目的として、親会社の勤務経験を有する3名の取締役が専任取締役として就任しており、1名のグループ会社取締役が取締役を兼任しております。なお、平成19年6月現在、当社への親会社企業グループからの出向者の受け入れはございませんが、今後、当社からの出向を含めた相互の人材交流によるノウハウの移転・交換を行っていく予定であります。

② 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社は、飲食事業における食材仕入・流通、運営ノウハウの交換や業態の相互利用による市場環境への素早い対応など、効率的で高付加価値な事業運営を通じ、顧客満足度の向上・株主価値の増大を図ることを目的に、親会社企業グループと一定の協力関係を構築していくことを目的としていることから、親会社の商品、業態戦略に関する方針などが当社の経営方針の決定等について、影響を及ぼし得る状況にあります。しかしながら、親会社の勤務経験を持つ3名の取締役は、いずれも

当社の経営に専念する常勤取締役であり、1名のグループ会社との取締役の兼任を除き、当社の取締役会と親会社グループとの兼任はございません。なお、平成19年6月現在、親会社からの出向者の受け入れは行っておらず、特定の事業部門が出向者に相当程度依存するという状況も発生していません。

- ③ 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等がある中における、親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

当社は、親会社企業グループと類似の事業を営んでおりますが、主要顧客・利用動機等の点で明確な事業の棲分けがなされており、親会社の企業グループから自由な事業活動を阻害される状況にはないと考えております。また、当社は、親会社との経営情報及び技術・ノウハウの交換等を目的として、当社の要請に基づき親会社の企業グループから1名の取締役が当社取締役を兼任しておりますが、その他の親会社ならびにそのグループ企業での勤務経験を持つ取締役は全員、常勤取締役として当社の経営に専念していることから、独自の経営判断が行える状況にあると考えております。また、経営の独立性を一層高める観点から、親会社の企業グループ外からの取締役、社外取締役への登用も行っております。

今後は、従来どおり親会社企業グループからの一定の独立性を維持することに留意しつつ、事業活動の効率化、ノウハウの交換を目的に、親会社企業グループとの出向等を通じた人材交流を行っていくことを検討しておりますが、平成19年6月現在の出向者の受け入れはございません。

- ④ 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

当社は親会社の主要な企業グループと類似の事業を行っており、緊密な協力関係を保ちながら事業展開する方針であります。親会社の企業グループとは主要業態・営業地域の棲み分けを通じ、事業領域の棲分けがなされております。兼任取締役の就任状況に関しても、グループ会社取締役との1名の社外取締役の兼任を除き、取締役における親会社グループとの兼任はございません。また、下記のとおり親会社の取締役が1名、当社の非常勤監査役に就任しておりますが、これは、同氏の持つ豊富な監査経験を当社のコーポレートガバナンスの強化に活かすことを目的としたものでございます。その他、出向者の状況も、独自の経営判断を妨げるほどのものではなく、一定の独立性が確保されていると認識しております。

(役員・監査役の兼務状況)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
非常勤取締役	黒柳 明博	(株)ジー・フード代表取締役 (株)グローバルアクト取締役	店舗コストコントロールなどの飲食運営ノウハウ、食材情報の交換等のため当社から就任を依頼
非常勤監査役	稲角 好宣	(株)ジー・コミュニケーション専務取締役 (株)パオ非常勤監査役 (株)グローバルアクト非常勤監査役	監査役としての豊富な経験から当社のコーポレートガバナンスの強化に資することから当社から就任を依頼

(注) 当社の取締役6名、監査役3名のうち、親会社との兼任役員は上記の非常勤監査役の1名のみであります。その他、親会社のグループ会社より1名が非常勤取締役に就任しております。

(出向者の受入れ状況)

該当事項はありません。

3. 親会社等との取引に関する事項

当社は平成19年4月19日に公表された株式会社ジー・コミュニケーションによる公開買付けの結果、平成19年5月31日をもって同社の連結子会社として親会社グループの一員となっております。

ジー・コミュニケーションを含む主なグループ各社と当社は、ともに外食事業を営んでいる他、FC展開による事業の拡大を図っております。親会社の企業グループと当社は類似した事業を営んでいますが、このうち当社は焼肉レストランチェーンを主力としており、主力食材や業態の点で事業領域が異なっております。当社は焼肉レストランを中心とする外食事業ならびにそれらのフランチャイズ展開を推進するのに当たり、親会社の企業グループとの一定の協力関係を保つ必要があると認識しております。

今後は、互いの外食ブランドを活用した相互展開、FC加盟店開拓における協同など、一定の独立性を保ちつつグループの経営資源を有効活用しながら、効率的な事業展開を図っていくことを計画しております。

以 上